

数学関連施設(リスープア)訪問

1 はじめに

編集部の活動を充実するために、編集部会の度に議論を重ねてきた。3年前に「数学関連施設訪問をしたらどうか」という声が上がったが、立ち消えとなった。今年5月の編集部会で、昨年度より会報が復活したので、折角だから「リスープア」を訪問して記事にすることになった。

「リスープア」は数学に関連した施設であり、学生を対象とした理数の体験ミュージアムである。教育活動を通して、生徒に還元できるものはないか、自分自身の数学の知識を高めるためにも是非一度訪問することになり、今回足を運んだ。以下はその概要、報告である。

2 リスープアについて

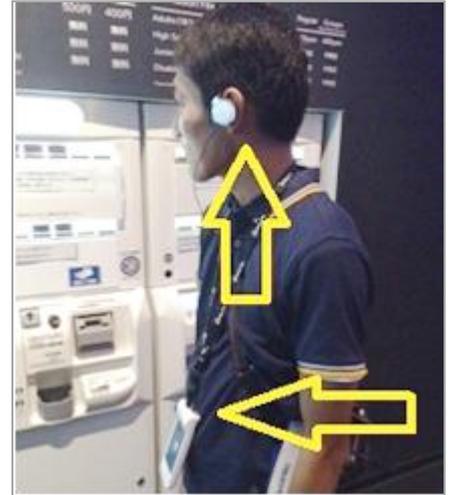
「リスープア」は理数の魅力とふれあうための体感型ミュージアムであり、五感に訴えかける展示と携帯情報端末(ディスカバリースコープ)で理数の原理・法則を楽しみながら学ぶことができる。

2階は「クエストフロア」で、主に理数の原理モデルが展示されている。「光の知究儀(ちきゅうぎ)」では全世界の理数界の偉人について知ることができ、身近な疑問から偉大な発見ができた歴史について紹介されている。他にもボールを穴から落とすと必ず真ん中に集まることから、放物線の焦点について知る実験、4つのレールから一斉にボールを転がしてどれが一番早く到達できるかを目で見て実感できるサイクロイド曲線、重心とモーメントについて知ることのできる実験など数多く展示されていた。「クエストライブラリー」と呼ばれるタッチパネルを使った理数のクイズでは、生物に関するクイズや魔方陣、一筆書きに挑戦して楽しく学習することのできる内容であった。

3階は「ディスカバリーフロア」で、デジタル映像や音で理数の原理・法則を体感できる展示やゲームを楽しめる。そのいくつかを紹介する。

- ・素数ホッケー：素数以外の数字を打ち返し、得点を競うエアホッケー
- ・ファンクションシューター：シューティングゲーム感覚で関数の式とグラフについて学ぶことができるゲーム
- ・ピクタングラム：7つの大きな図形を組み合わせて、画面に表示されたシルエットと同じ形を作るゲーム
- ・パフォーマンスシアター：様々なストーリー仕立てになっており、1名のみクロマキーで画面内に参加できる面白みもある。3Dメガネをかけて数の不思議を学ぶことができる(取材当日は円周率 π についてだった)。
- ・ライトキャンパス：赤・青・緑の3色をコントローラーで発射し、表示されたものと同じ色を作るなど、光の3原色について学ぶことができる。
- ・エネルギーコンバージョンボール：様々な形のブロックを使い、スタート地点から打ち出されるボールを力学的エネルギーの原理を用いてゴールへと誘導するゲーム。

・ディスカバリースコープ：携帯情報端末で、3階入口で受け取る。展示ごとに設置されたポールに端末をタッチすると、理数の原理・法則や、社会でどのように応用されているか身近な事例をヘッドホンで聴くことができる。端末内に表示される「エージェント」



と呼ばれるキャラクターが進化していくという面白い仕掛けもあった。



↑取材を忘れて「エネルギーコンバージョンボール」を楽しんでいる様子。
楽しみ過ぎてハイスコアまで出してしまった(笑)。

3 最後に

このように、数学だけでなく理数全般について楽しむことのできる体験型施設であった。理数離れと言われている現代は特に、理数を楽しめるものだと感じさせ、身近なことに疑問を持つ姿勢を育てていくべきだと感じた。

取材に快く協力して下さったパナソニックセンター東京の方々に深く感謝申し上げます。

***** リスープア施設情報 *****

所在地：東京都江東区有明3丁目5番1号

パナソニックセンター東京内(2・3階)

開館時間：10:00~18:00(休館日 月・年末年始)

3階最終入場 17:00

料 金：高校生以下・引率教員無料 大人 500 円

訪問者：大平剛弘(都秋留台高)、林恵美子(都三鷹高)